

ご取材のお願い

平成 24 年 9 月 13 日
東西しらかわ農業協同組合
公益財団法人ヤマト福祉財団

「JA 東西しらかわ東部共同農業倉庫」竣工式の開催について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第 4 次助成先の一つである東西しらかわ農業協同組合（福島県白河市）の東部共同農業倉庫が完成し、竣工式を 9 月 19 日（水）午前 11 時より執り行います。

東西しらかわ農業協同組合は、福島県の県南に位置する白河市、矢吹町、棚倉町、塙町、矢祭町、鮫川村一帯に住む約 1 万人の農業生産者へ支援を行っています。平成 15 年にはオリジナルブランド米「みりよく満点米」を開発し、米の海外輸出にも力を注いできました。

しかし東日本大震災の激震により全 5 ヶ所の農業倉庫が損壊。水路も破損するなど、甚大な被害を受け、原発事故による風評被害は今なお続いています。

そこで東西しらかわ農業協同組合では、地域の農業生産の復旧、復興を目指し、5 ヶ所に分散していた農業倉庫を東西の 2 ヶ所に再編し、米の低温管理が可能な農業倉庫を新設することにいたしました。この倉庫集約により、地域農産物物流の合理化を進めるとともに、常温管理しかできなかった従来の石蔵倉庫に比べ、一層の品質向上が図れます。

ヤマト福祉財団では、最大激震地であった福島県内陸部の農業復興再生を図るため、国の助成対象となっていない農協の農業倉庫の建設費用 2 億 7,000 万円を本年 2 月に助成いたしました。5 月に東部共同農業倉庫の起工式が行われ、この度の竣工を迎えました。なお 2 ヶ所目となる西部共同農業倉庫は、平成 25 年 7 月の竣工を予定しています。



(低温管理で品質向上、倉庫の統合により物流の合理化も図る)



(5 月に行われた新築工事起工式)

福島県、そして東北の復興は途上にあります。震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む本式典を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

東西しらかわ農業協同組合 担当：根本 (0248-32-1031)

公益財団法人 ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺 (03-3248-0691)

記

1. 日時 平成 24 年 9 月 19 日 (水) 午前 11 時 00 分より
2. 場所 東部共同農業倉庫 (JA 東西しらかわ東部営農センター敷地内)
住所 福島県東白川郡塙町大字常世中野字雨谷 188
電話 0247-43-1141
3. 主な出席者 (敬称略)
 - (1) 東北農政局いわき地域センター長 西本幸雄
 - (2) 福島県県南農林事務所長 水戸典明
 - (3) 塙町長 菊池基文
 - (4) 塙町議会議長 鈴木道男
 - (5) J A 福島五連会長 庄條徳一
 - (6) J A 全農福島郡山営農事業所長 赤井寿雄
 - (7) 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 有富 慶二
4. 施設概要
(新施設) 低温農業倉庫 鉄骨造り平屋建て
建物 943 m² 敷地面積 1,309.50 m² 米の標準収容量 22,000 俵
(尚、西部地区に建設予定の共同農業倉庫は平成 25 年 1 月に着工、平成 25 年 7 月に竣工予定)

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設され、本年 6 月 30 日をもって募金と助成の募集を終了いたしました。募金は 142 億円 3,608 万 1,360 円となったヤマトグループの「宅急便 1 個につき 10 円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまり、総額 142 億 7,426 万 4,524 円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に、国の補助のつきにくい事業や、単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるための事業に対し、第 1 次から第 5 次にかけて、計 31 件に対し、総額 142 億 6,600 万円の助成を行いました。
詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。